

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第67期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	4,055,416	4,177,649	7,932,702
経常利益(千円)	581,373	600,748	1,079,830
四半期(当期)純利益(千円)	275,224	356,550	553,609
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	250,653	330,900	548,416
純資産額(千円)	10,911,585	11,436,038	11,158,784
総資産額(千円)	14,905,458	15,498,095	15,320,655
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	27.08	35.09	54.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	71.6	72.2	71.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	443,159	151,745	915,859
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	190,051	72,126	467,509
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	106,434	104,701	209,753
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,221,186	1,907,925	1,933,007

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.25	19.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要を背景とした公共投資や設備投資の増加など、景気は緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題や新興国経済の停滞感、円高の長期化などにより、依然として不透明な状況のまま推移しました。

このような環境のもと、当社グループは顧客のニーズに応える環境対応型塗料や高機能性塗料の充実をはかり、販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、さらなる生産性の効率化により業績の向上に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、41億78百万円（前年同四半期比3.0%増加）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は5億36百万円（前年同四半期比10.5%増加）、経常利益は6億1百万円（前年同四半期比3.3%増加）となり、四半期純利益は3億57百万円（前年同四半期比29.5%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は41億28百万円（前年同四半期比3.1%増加）、営業利益は5億21百万円（前年同四半期比11.9%増加）であります。

その他

売上高は50百万円（前年同四半期比6.4%減少）、営業利益は15百万円（前年同四半期比23.4%減少）であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は1億77百万円増加、負債は1億円の減少、純資産は2億77百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金2億30百万円、有価証券8億10百万円、減少の主なものは現金及び預金4億5百万円、長期預金4億円であります。

負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金82百万円、減少の主なものは未払金87百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金3億6百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、19億8百万円（前年同四半期末22億21百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1億52百万円（前年同四半期4億43百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益6億円、減価償却費89百万円、減少した資金では法人税等の支払額2億97百万円、売上債権の増加2億30百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、72百万円（前年同四半期1億90百万円増加）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻16億80百万円、有価証券の売却及び償還50百万円、減少した資金では定期預金の預入9億円、有価証券の取得8億60百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、1億5百万円（前年同四半期1億6百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額50百万円、長期借入金の返済26百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、73百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村初美	大阪市福島区	2,216	18.46
北村健	大阪市福島区	2,211	18.42
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	1,088	9.06
第一生命保険株式会社	東京都中央区晴海1-8-12	767	6.39
進勇商事株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	225	1.87
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	223	1.85
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	170	1.41
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
株式会社ダイセル	大阪市北区梅田3-4-5	108	0.90
計	-	7,308	60.90

(注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。

2. 上記のほか、当社所有の自己株式が1,757千株(所有株式数の割合:14.64%)あります。

3. イサム土地建物株式会社が所有している株式については、会社法施行規則第67条第1項の規定により議決権を有しておりません。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,757,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 115,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が74株含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	1,757,000	-	1,757,000	14.64
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	170,000	-	170,000	1.41
計	-	1,927,000	-	1,927,000	16.05

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,323,007	3,917,925
受取手形及び売掛金	2,603,941	2,833,691
有価証券	650,701	1,460,701
商品及び製品	852,446	813,157
仕掛品	80,441	129,448
原材料及び貯蔵品	189,484	174,043
繰延税金資産	88,801	89,845
その他	33,570	89,810
貸倒引当金	24,493	19,327
流動資産合計	8,797,898	9,489,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,409,927	2,410,205
減価償却累計額	1,196,865	1,232,050
建物及び構築物(純額)	1,213,062	1,178,155
機械及び装置	375,107	357,285
減価償却累計額	306,310	296,733
機械及び装置(純額)	68,797	60,552
工具、器具及び備品	358,978	359,207
減価償却累計額	328,160	333,325
工具、器具及び備品(純額)	30,818	25,882
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	17,047	13,462
減価償却累計額	14,849	12,087
リース資産(純額)	2,198	1,375
有形固定資産合計	2,659,342	2,610,431
無形固定資産		
ソフトウェア	109,282	95,007
施設利用権	6,790	6,329
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	148,007	124,895
無形固定資産合計	270,389	232,541
投資その他の資産		
投資有価証券	1,566,847	1,520,917
長期貸付金	168	112
長期預金	1,100,000	700,000
保険積立金	717,430	724,092
繰延税金資産	186,660	199,557
その他	24,115	23,346
貸倒引当金	2,194	2,194
投資その他の資産合計	3,593,026	3,165,830
固定資産合計	6,522,757	6,008,802
資産合計	15,320,655	15,498,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,609	1,797,399
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	50,252	50,048
未払金	280,740	193,832
未払法人税等	300,086	241,072
未払消費税等	16,957	33,779
前受金	4,359	4,377
預り金	70,440	68,178
賞与引当金	108,647	108,650
その他	39,666	40,117
流動負債合計	2,638,756	2,589,452
固定負債		
長期借入金	449,000	423,000
長期預り保証金	248,942	249,255
リース債務	107,669	82,711
退職給付引当金	500,699	492,485
役員退職慰労引当金	85,220	96,393
修繕引当金	30,000	35,000
負ののれん	75,219	69,433
金利スワップ	26,366	24,328
固定負債合計	1,523,115	1,472,605
負債合計	4,161,871	4,062,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	9,099,637	9,405,810
自己株式	709,199	710,010
株主資本合計	10,890,763	11,196,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,412	6,177
繰延ヘッジ損益	16,592	15,309
その他の包括利益累計額合計	19,820	9,132
少数株主持分	248,201	249,045
純資産合計	11,158,784	11,436,038
負債純資産合計	15,320,655	15,498,095

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,055,416	4,177,649
売上原価	2,618,435	2,648,832
売上総利益	1,436,981	1,528,817
販売費及び一般管理費	952,308	993,145
営業利益	484,673	535,672
営業外収益		
受取利息	4,359	2,918
有価証券利息	13,049	3,538
受取配当金	4,444	4,130
受取賃貸料	27,300	28,306
塗装情報サービス会費	10,660	10,537
生命保険満期差益	16,979	-
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金戻入額	14,430	5,165
その他	8,901	14,120
営業外収益合計	105,908	74,500
営業外費用		
支払利息	9,176	8,240
その他	32	1,184
営業外費用合計	9,208	9,424
経常利益	581,373	600,748
特別損失		
固定資産除却損	-	961
災害による損失	9,134	-
特別損失合計	9,134	961
税金等調整前四半期純利益	572,239	599,787
法人税、住民税及び事業税	256,998	237,623
法人税等調整額	38,689	2,312
法人税等合計	295,687	239,935
少数株主損益調整前四半期純利益	276,552	359,852
少数株主利益	1,328	3,302
四半期純利益	275,224	356,550

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,552	359,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,136	30,235
繰延ヘッジ損益	237	1,283
その他の包括利益合計	25,899	28,952
四半期包括利益	250,653	330,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,858	326,980
少数株主に係る四半期包括利益	1,205	3,920

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	572,239	599,787
減価償却費	84,849	89,345
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,417	8,213
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,716	11,173
賞与引当金の増減額(は減少)	220	3
修繕引当金の増減額(は減少)	5,000	5,000
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,430	5,165
受取利息及び受取配当金	21,852	10,586
支払利息	9,176	8,240
固定資産除却損	-	961
災害損失	8,465	-
売上債権の増減額(は増加)	205,968	229,749
たな卸資産の増減額(は増加)	5,114	5,723
仕入債務の増減額(は減少)	121,689	81,790
未払金の増減額(は減少)	3,225	54,972
未払消費税等の増減額(は減少)	3,595	16,822
その他	3,975	61,226
小計	577,244	443,147
利息及び配当金の受取額	26,882	13,692
利息の支払額	9,222	8,291
法人税等の支払額	151,745	296,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,159	151,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,000,000	900,000
定期預金の払戻による収入	1,670,000	1,680,000
有価証券の取得による支出	350,000	860,000
有価証券の売却及び償還による収入	250,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	3,592	29,814
無形固定資産の取得による支出	16,908	5,274
投資有価証券の取得による支出	598	604
投資有価証券の売却及び償還による収入	601,593	-
保険積立金の積立による支出	38,913	37,741
保険積立金の払戻による収入	75,065	31,079
貸付金の回収による収入	-	60
その他	3,404	168
投資活動によるキャッシュ・フロー	190,051	72,126

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	26,000	26,000
自己株式の純増減額（は増加）	410	811
リース債務の返済による支出	27,395	25,162
配当金の支払額	50,170	50,269
少数株主への配当金の支払額	2,459	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	106,434	104,701
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	526,776	25,082
現金及び現金同等物の期首残高	1,694,410	1,933,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,221,186	1,907,925

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	194,414千円	194,470千円
支払手形	-千円	700千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
運送費	89,835千円	95,036千円
宣伝費	52,945千円	63,528千円
役員報酬	47,900千円	47,880千円
従業員給料	305,888千円	304,968千円
賞与及び賞与引当金繰入額	81,844千円	83,304千円
福利厚生費	74,734千円	78,631千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,448千円	11,173千円
退職給付費用	24,919千円	19,666千円
減価償却費	41,405千円	43,571千円
支払手数料	79,068千円	85,704千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	4,311,186千円	3,917,925千円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,090,000千円	2,010,000千円
現金及び現金同等物	2,221,186千円	1,907,925千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	51,229	5	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	51,226	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	51,215	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	4,002,383	53,033	4,055,416	-	4,055,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,002,383	53,033	4,055,416	-	4,055,416
セグメント利益	465,262	19,411	484,673	-	484,673

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	4,128,006	49,643	4,177,649	-	4,177,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,128,006	49,643	4,177,649	-	4,177,649
セグメント利益	520,807	14,865	535,672	-	535,672

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(金融商品関係)

該当事項はありません

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前連結会計年度(平成24年3月31日)

	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
(1) 株式	245,279	308,475	63,196
(2) 債券	20,000	13,165	6,835
(3) その他	650,701	650,701	-
合計	915,980	972,341	56,361

(注) 非上場株式(四半期連結貸借対照表計上額 5,010千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間(平成24年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	246,369	263,820	17,451
(2) 債券	20,000	11,667	8,333
(3) その他	1,460,701	1,460,701	-
合計	1,727,070	1,736,188	9,118

(注) 非上場株式(四半期連結貸借対照表計上額 5,010千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27.08円	35.09円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	275,224	356,550
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	275,224	356,550
普通株式の期中平均株式数(株)	10,164,196	10,161,816

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第67期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）中間配当については、平成24年11月12日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,215千円
1株当たりの金額.....5円
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 田中 伸郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 加賀谷 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。